



一般社団法人名古屋工業会会誌

ごきそ

2018 9-10月号

【追憶】

武藤三郎先生を偲ぶ特集記事

【特別講演会】

田野瀬良太郎先生

【ホットライン】

鶴桜会(OG会)支援金授与

【新聞記事コーナー】

中日新聞、中部経済新聞

【情報ネットワーク】

支部報告・会員ニュース

No.485

発行 一般社団法人名古屋工業会
(名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4

TEL・052-731-0780

FAX・052-732-5298

E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>



第4回 名古屋工業大学

HOMECOMING DAY

プログラム(予定)

- 10:00 ~ 12:00
学内見学ツアー・研究室見学

- 13:30 ~ 15:00
歓迎式典 (NITech Hall)

- 名古屋工業大学長挨拶
- 名古屋工業会理事長挨拶
- 記念講演会

講師

横山 清子氏

(本学 大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了)

演題

「人にやさしいもの・ことのデザイン
～眠らせない自動車からカスタムメイド縄跳まで～」

- 学歌合唱

- 15:30 ~ 17:00
懇親会 (大学会館) 会費:2,000円

平成30年

10月27日(土)

共催:名古屋工業会

記念講演会 講師

横山 清子氏

・名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授
・名古屋市立大学 学長補佐
(国際・北千種キャンパス将来計画)
・名古屋市立大学 国際交流センター長



横山教授は名古屋工業大学在学中より、ひとの状態を測り、健康維持やリハビリなどに活かす研究を続けてこられました。さらにそれを産業に繋げ、Industry 4.0の実現形態の一つと言える、人を見つめ一人ひとりに最適な製品、適応的な機能をデザインすることを実践されています。現在は、名古屋市立大学大学院芸術工学研究科で教授として、また、同大学学長補佐としてご活躍です。

卒業・修了後30年(1988年卒)、40年(1978年卒)、50年(1968年卒)及び60年以上(1958年以前卒)の方は歓迎式典及び懇親会へご招待いたします。

企画は変更される場合があります。情報は決まり次第、名古屋工業大学ホームカミングデーHPに掲載いたしますので、ご覧ください。(現在準備中)

名工大ホームカミングデー

検索



<https://www.nitech.ac.jp/guest/hcd/>

追憶

武藤三郎先生を偲ぶ特集記事

名古屋工業大学第五代学長武藤三郎先生

国立大学法人名古屋工業大学学長 鶴飼 裕之

武藤三郎先生は、昭和24年、新制名古屋工業大学が開設した際に、愛知県立工業専門学校より電気工学科教授に就任され、以来、名工大ならびに電気工学分野の発展に尽力されてられました。ここに、名古屋工業大学を代表し、謹んで武藤三郎先生のご逝去に哀悼の意を表すとともに、名古屋工業大学長としてのご業績の一端をご紹介させて頂くことで感謝の意を表したいと思います。

武藤先生は、昭和53年11月より名工大第五代学長に就任され、昭和59年10月までの二期六年にわたり、本学の教育研究の発展に多大なる貢献をされました。なかでも、大学院博士課程の設置活動に積極的に取り組み、昭和60年度に物質工学、生産システム工学の二専攻、翌61年度に電気情報工学、社会開発工学の二専攻の開設に導いた功績は極めて大きいものでした。新制大学発足以来、旧制大学のみに設置されていた大学院の設置は、名工大をはじめ新制大学にとっては、学術の深化によって科学技術の発展に貢献する研究大学をめざすうえでの宿願でした。名工大では、昭和39年度に大学院修士課程が設置されましたが、博士課程の設置計画は第二代佐藤知雄学長時代の昭和43年に始まります。当時、文部省の定めた設置基準のハードルは高く、また、大学紛争の影響による空白期間もあって文部省との交渉は難航し、具体的な進展は、武藤先生が学長に就任されたのを機に本格化していきました。設置に意欲的な武藤先生のリーダーシップの下、学内意見を纏めて「独創的、抜本的かつ実践的な」具体案を策定するとともに、名古屋工業会においては期成会を設立して政界ならびに地域産業界に積極的に働きかけるなど、いわば名工大総がかりで運動を展開しました。その結果、大講座制の採用による六大学科への再編統合という工学部改組とともに設置が認められたのでした。以来、博士課程からは数多の有意な研究者・技術者を学界、産業界に輩出し、また、研究力においてもわが国有数の工学系大学へと発展してまいりました。このように、研究大学としての礎を築かれた武藤先生のご業績は、名工大の歴史の中にしっかりと刻まれています。

武藤三郎先生を偲んで

柴田 俊夫 (EM44)

私が武藤先生から直接ご指導いただいたのは1967年(昭和42年)からでした。他大学からの大学院(修士)入学で、学部時代に電力機器分野を専攻していたこともあり、武藤研にお世話になりました。今は無くなりました高電圧実験室に連日の泊り込みによる粘り強い「実験」と「データ」収集を通して、「物理現象」を肌で感じる大切さを学びました。SF6ガスを始め各種電気絶縁ガスを武藤研で研究していたことも実にタイムリーでした。これらはその後、縁あってお世話になった日新電機でのガス絶縁電力機器開発時に私の原動力になりました。現在ほどデジタル計算技術、デジタルシミュレーションが発達していない当時は、実験時の現象に対する洞察(肌で感じる)が重要でしたが、武藤研でこれを学びました。先生からご指導いただいた「研究者魂」はその後の電力機器技術者人生の支えとなりました。

武藤研には「トンちゃん(?)パワー」の溢れた多彩な先輩方、個性豊かな助教の方々がおられました。実験とデータ収集は体力勝負で何とかりましたが、今思い出しても、歯の立たなかった輪読会があり

ました。「スミルノフの高等数学教程」輪読。インドネシアからの超優秀な留学生・S氏と共にこの輪読会の表題が忘れられません。

先生が昭和61年に出された自伝随筆本「黄花石南（きばなしゃくなげ）」に先生の写真が何枚かのスケッチと共に載っています。これを見るたびに「柴田君、ちょっと…」と先生の重く響く（バスバリトンの）お声が聞こえてきます。

ご冥福をお祈りします。

武藤先生と剣立山の山行の思い出

花市 敬正 (E41)

前の東京オリンピックの年の夏休み前だったと思います。武藤研で技術補佐員をしていた、同級生の後藤淑君と夏休みの山行の話をしていたところ、一見怖そうな先生が入ってこられ気軽に話に乗ってこられました。このとき武藤先生と知り、話の中で山岳に造詣があり、特に先生が山梨出身とのことで南アルプスについて詳しいのに納得しました。その後、先生は久しぶりに山歩きがしたいと後藤君から聞き、丁度Ⅱ部山岳部の夏合宿は剣岳で行う予定でしたので、合宿前に先生を剣沢のベースキャンプまでお連れする計画を立てました。メンバーは先生と2人のご子息、後藤君、私の友人で、山行当日先生にはきついかなと思いつつ、名古屋駅から夜行列車を利用しました。富山を経由、登山口室堂で朝食。立山頂上まで2時間のきつい急な登りにも、先生は夜行列車の疲れもみせず軽い足取りで頂上の雄山神社で参拝、記念撮影をしました。よく晴れ渡って尾根筋を足取り軽く、後立山連峰、遠く白山、薬師岳を、眼下には黒部湖の眺望を楽しみました。剣沢のキャンプ地では合宿の先発の人たちと夕食、先生には山小屋でお泊りいただきました。翌日には先生にテントキーパーをお願いし、ご子息と剣岳に登頂、夕食時に合宿先発全員が、先生に山岳部顧問をお願いしたところ、快くお引き受けいただきました。以来、先生が学長になられて後、情報工学科教授鈴木宣夫先生に引き継がれるまで、反省会（コンパ）や山岳事故のたび、いろいろとお心使いいただきました。

翌年の卒論には武藤研に受け入れられ、厳しいご指導を賜りました。就職に際し、愛知がんセンター研究所より話があり、先生にご相談したところ、「4、5年、他人のメシを食ってくるのも悪くないな」とアドバイスを戴き決めました。以来、電子顕微鏡を通し、医学生物学をはじめ工学分野、果てには海洋、宇宙にまで分野を広げ、他人メシの美味さを味わいながら今も続けています。

武藤研始まって以来の出来の悪い卒論生でしたが、卒論や山岳部活動を通し、私的にも大変お世話になりました。武藤先生には大変感謝しております。本当にありがとうございました。

武藤先生のご冥福をお祈りいたします。



後立山連峰をバックに立山山頂にて、武藤先生（中）を囲んで右側は御子息2人、左側後藤氏（技術補佐）、左端は筆者の友人

武藤先生の思い出

川越 英二 (EB47、EM49)

大学4年生の昭和46年に武藤研に入り、修士の2年を含め3年間ご指導いただきました。その中で先生は英語の重要性を強調されていました。海外文献を原語で読めないと工学士とは言えないと。従って土曜日午後の輪講準備は辞書との格闘でした。おかげで英語やロシア語の技術論文もクリアーできました。

また泊まりでのセミナーも何度かあり、電気屋は三相交流が必須で120度回転も体感でとの指導で、直々に三角おにぎりの作り方を教わりました。これはその後も家庭や会社で大変役に立ちました。

就職は中部圏の会社を勧められましたが、大阪出身なので関西電力に入りました。入社3年目に、米国メーカで電力講座を約半年間勉強する選抜試験がありました。ヒアリングは他の同期生と同様全くだめですが、結局筆記試験の差で私が行く事になりました。先生の指導のおかげです。

その約10年後フロリダ電力出向中に、先生から手紙で中部新空港調査団の団長でフロリダに行くからオーランドに来なさいと。久しぶりに再会して激励頂きました。先生自身は常滑沖しかないとお考えのようでしたが、複数案を比較検討しないと説得力が無いので調査をしているとのこと。

平成7年7月、先生の叙勲祝賀会では、同年1月17日未明に起こった阪神淡路大震災の直前に神戸電力所長を拝命し、その早期復旧過程をお話したところ、興味深く聞かれました。先生は技術将校で広島勤務でしたが、投下4日前に大阪に出張していて難を逃れたともお聞きしました。戦後は愛工専で名工専と合併して名工大を開設、情報工学科新設、博士課程新設と困難な課題を次々と解決されました。

私は平成16年には50才半ばで別の会社に移り、還暦過ぎて東京に単身赴任となりました。海外事業担当役員として3年間厳しい状況を何とか打開できたのも、若い頃受けた厳しくも優しい先生のご指導のおかげと感謝しております。安らかに眠りください。お疲れさまでした。



左から、筆者川越、中村助手、武藤先生、川端氏

武藤先生への感謝の思い

川端 康己 (E48、EM50)

武藤研での二年間の研究活動で、超電導送電の冷却絶縁材料となる液体窒素の絶縁破壊の研究について取り組ませて頂いた。実験、データまとめ、分析、因果関係の理論付け、発表論文纏め、学界やシンポジウムでの発表、それらにかかる費用（二年間で約300万円）の活用等全てにおいて大変なお世話になりました。

この二年間の研究活動でご指導いただき経験させて頂いたことで、私が得た最大の知見は、世界の関係先端論文を調査し、自分の研究テーマを、世界で誰も手を付けていない世界初にすることです。その結果、トヨタ自動車に入社（武藤先生は電力会社を希望されていた様子？）してからは、この考えが、

私の仕事の基本的な考えとなりました。又大学院で習得した仕事のやり方やノウハウが大変役立つことになりました。そして仕事の成果を出す一つのベースになるとともに、私の企業人生を形成する支えの大事な一つにもなりました。

トヨタでは、多くのテーマに取り組んできましたが、特に83年から少子高齢化対策を睨んだ自動化方針に沿って、ネオジウム磁石のコンパクト・高性能AC同期モータ&デジタルサーボの内製開発に取り組み、そして88年には、トヨタ内でモータシステム製品の少量生産を立ち上げました。世界的にもこの種のモータとしては最先端のものであったと思っています。名工大の松井先生のデジタルサーボ、岐阜大学の河瀬先生のFEM磁場解析、豊田中央研究所のモータ設計等、必要技術を先端技術者に協力を得るマネジメントも武藤研で学んだことです。トヨタ内製モータを応用することで、ロボット、NC機、テスター、無人搬送車等の他では出来ない画期的な自動機や、そして電気自動車のRAV4EV、ハイブリッド車のプリウスへと展開を進めることができました。

私は、トヨタの後愛知製鋼に転籍し、97年のプリウス立ち上げから約15年が経ちプリウスの廃車が出るようになったことから、廃車のHVモータユニットをリユースした風力発電、水力発電等の再生可能エネルギーを生み出すシステムの開発を提案し、12年に愛知製鋼退任後、豊田通商でそれらの開発、事業化に取り組んで来ました。ここに来て電力関係の仕事に携わるようになったことは、武藤先生の期待に少し応えることができたのかなと思っています。武藤先生には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

武藤先生のご冥福をお祈りいたします。

武藤三郎先生を偲んで

眞鍋 和人 (E50、EM52)

鶴舞公園の桜が見事に咲き誇る頃…、今から遡ること47年前の昭和46年（1971年）4月某日…、「いや～、よく来てくれましたねえ～」…武藤三郎先生に初めてお目にかかる瞬間であった。その数日前、名工大から入試合格通知が届き、その日は入学手続き、下宿探しのため、未明に国鉄・宇高連絡船に乗船し四国・高松を出発、来名。前日、父からは、「名工大に着いたら、先ず一番に電気の武藤先生のところへ行ってご挨拶するように」と言われていた。父の大学時代の二年先輩が武藤先生であった。ご挨拶に伺ったとき、先生は何かの打合せの最中であったにも拘らず、貴重なお時間を割いて暫くの間、名工大の様々な話題を熱心にお話しして下さい。初めてお目にかかる先生の印象は、がっちりした体格で威厳が感じられる低音のお声が印象的であった。

電気工学科4年に上がる時には卒論の研究室を決めなければならなかった…。私は強電・電力関係に興味があったため、迷うことなく武藤研を希望し、運良く第一希望が叶った。研究室では液体窒素中の放電実験・解析、そして毎週土曜日午後には輪講（英語論文）が行われた。その内容は怠惰な私の下宿生活に活を入れるに相応しいものであり、先生の厳しくも温かいご指導の下、充実した毎日を送ることが出来た。そんな折、丁度夏休みの期間中であったが、先生から、中部原子力懇談会が主催する浜岡原子力発電所の見学会に参加してみないか、とのお誘いがあった。それまで原子力と聞いても漠然としたものであったため、興味津々、研究室の仲間と二人で参加することとなった。実際に発電所へ向いて大規模な建物や設備を目の当たりにし、かつ発電所担当者から直接生のお話を伺い、そのスケールの大きさ、複雑さには驚かされるばかりであった。この時の貴重な経験が私をエネルギー問題に目覚

めさせ（些か大袈裟ではあるが）、就職した電力会社において、退職するまで原子力部門の業務に従事することが出来たきっかけの一つになったことは言うまでもない。

夏休みが終わり、前期の試験も終わった頃、武藤先生を筆頭に研究室メンバー全員が参加して御母衣ダム見学一泊二日ツアーに出かけた。初めて見るダムのスケールの大きさに度肝を抜かれ、当日は麻雀に興じた後、些か興奮気味のうちに就寝。翌早朝、高原の澄み切った空気を思いきり吸い込みながら散策していると、紅葉の山々、高原の景色を座して黙々とスケッチしている人の後ろ姿が目に入ってきた…、武藤先生であった。朝早くから一人静かに自然と会話しているようにも見え、学内でお見受けする印象とは又違った、心静かにそして穏やかに自然と向き合われているお姿を垣間見ることが出来た。あの時のお姿は今でも印象深く、鮮明に思い出すことが出来る。

思い起こせば厳しくも充実した実り多き武藤研での日々であった。疲れを知らない深夜未明までの放電実験、冷や汗の連続だった輪講での当番、先生も参加して下さった思い出深い“女子大との合同ハイキング（合ハイ）”、池の茶屋での忘年会等々…。そして、卒業後も先生にご多忙の中ご無理をお願いし媒酌の労までお取り頂いたり…、何から何までお世話になりっぱなしであった。

これまでのご恩に対し先生には単に感謝という言葉だけでは言い尽くせない…、せめてもう一度お目にかかりお礼を申し上げたかった…。今は只々ご冥福をお祈りするばかりである。

武藤三郎先生を偲ぶ

川村 信之 (E53)

私達は、武藤先生が学長に就任される前年に卒業(武藤研究室)した学年の為、同期の仲間と退官後先生にその時のお話を伺った折、「あの時は大変な時期で、君達には十分な指導が出来なくて本当に申し訳なかったね」と懐かしく思い出を回想されていたのを、今でも思い出します。今春、先生の逝去の報を受けた時に、この事が真っ先に思い出されました。今回、武藤先生と私との思い出を、研究室在籍中と私の卒業後の時代（学長・退官後）といった形で辿ってみたいと思います。

①研究室在籍中：卒業研究の選択に悩んでいる時に、武藤先生の「誘雷ロケットによる大電流測定研究」がこの年、日本初の屋外実証実験を始められるというお話を伺い、これが極めて魅力的に映り武藤研の門を叩く事となりました。これは名工大だけでなく、名大、中部工大3大学共同プロジェクトで、先生方も学生も犬山入鹿池湖畔の実験サイトで寝食共にして、ただ怖いだけの「雷」を自分たちの手で、フランス製ロケットで、捕まえるんだと意気に燃えていました。

その当時、武藤研では、先生から最先端技術を原書で講義頂く「厳しい土曜ゼミ」があったのですが、ボート部に所属していたので「4年夏の全日本選手権迄ゼミを何とか猶予して下さい」と武藤先生に頼みこんだ時、先生から「それなら、やる以上良い結果が出る様頑張れ」と励ましを受け、部活を何とか継続させて頂きました。この事が後で誘雷実験に活かされることになりました。

実験では、実験建屋とロケット発射島の間に入り江があり（誘雷を避ける為にロケット自体の発射回路と建屋の制御装置を直接電気接続できなかった）、島に渡りロケット自体の導火線を接続し建屋内の空気圧縮スイッチを発射可能にする仕事が必要でした。そして、この実験の良し悪しは、雷雨の真っ最中に突撃隊の様に如何に早く入り江を手漕ぎボートで漕ぎ切り、島で作業するかに係っていましたが、受け手の少ないこの役を何度も志願して務めました。おかげで良い実験結果を得る事ができました。これらの事柄は、先生から、「机上ばかりでなく実地でも指導を受ける事ができた」懐かしくも楽

しい思い出の一つでした。

②**卒業後の時代**（学長就任・大学退官後）：卒業後、大学近くに職（中部電力）を得たことから、先生の様々な慶事（名工大学長就任、大学退官、叙勲（勲2等旭日章）等）の折に少なからず、「先生の祝賀会」のお手伝いをさせて頂き、先生の喜びを間近でお祝いできたのは、この上ない喜びでした。

③**先生の業績に思いを馳せて**：学生時代は、先生の顕著な業績が「高電圧・大電力送電」と、お伺いしていても、あまりよく理解できていませんでした。

しかし、卒業後、電力会社に入り、社会が経済発展を続け不足する電力事情に応える大容量送変電設備を建設する仕事に就いた折、使われている技術を調べてみると、武藤先生が成してこられた「送電電圧の高電圧化・多胴体の送電線の開発」という研究が使われているのを間近に見て、先生の業績の素晴らしさを深く知るに至りました。

④**最後に**：私は、先生に直接薫陶を受けた時間はそれほど長くはありませんでしたが、こうして先生の人となりや業績を振り返ってみますと、「我が師の偉大さ」に、今更ながら深く感じ入りました。

武藤先生、本当に有難う御座いました。安らかにお休みください。

武藤三郎先生への感謝

中村 光一（E41）

卒業後一年間もなく武藤先生から大学へのお誘いがあり、翌年4月15日に電気工学科助手になりました。厚生省から文部省への出向（配置転換、採用）でした。学部卒からの突然の教官への転身、それは覚悟の上とは言え、清水の舞台から飛び降りてしまいました。その日から、教育、研究の模索が始まりました。時がたち、毎日のように先生のお部屋で昼食しながら、研究に関する議論、卒研生・院生諸君の活動状況、時には科研申請、教科書の作成、折に触れて人生経験のお話など、今でも思い出します。それらは私の貴重な財産です。

先生は、電力系統工学を研究テーマにするよう私に勧めてくださいました。先生のご専門は高電圧工学でしたが、自分とは異なる研究領域に進むことが本人のためによいとお考えだったと思います。研究の新たな潮流を掴み取る眼力の鋭さに感心させられました。私もロケット誘雷、超電導、高速信号処理、機器故障診断などへ研究展開したように、異なる領域に進む原動力をいただきました。

先生の口癖の幾つかに、名工大の評判は卒業生で持っている。建学当初から数多くの起業家が育っている。地元産業界に沢山の卒業生が活躍している。大企業は旧制帝大に任せておけばよいが、名工大は中小企業を大事にしなければならない、樹人百年（人、樹が育つのに100年）、などのお言葉を思い出します。

先生は全く無知、蒙昧な私を優しく時には厳しく指導され、気長に成長を待っておられました。先生から日々ご薫陶をうけながらも、余りにも近い所でいたせいか、恩師の深い御心に接しえたのか慙愧心が残る現在です。いまでも雲のように高邁な先生に及ぶことはありません。公私にわたり本当にお世話になりました。深く深く深く感謝申し上げます。

安らかにお休みください。



ロケット誘雷実験の1例



平成30年度 一般社団法人名古屋工業会会員総会

特別講演会 (田野瀬良太郎先生)

名古屋工業会は平成30年5月19日(土)、名古屋工業会会員総会において特別講演を開催致しました。学校法人西大和学園会長 大和大学学長 田野瀬良太郎氏(D45)を講師に迎え「政治と教育の半生」と題してご講演いただいた。

今回、ご講演前の貴重なお時間を頂戴し、ご講演者の田野瀬氏へ名工大新聞部が取材を敢行し、お話を伺った。内容は次のとおり。

田野瀬 良太郎先生

「理想のリーダー像は大勢の人に夢を語ることができることだ」

こう語るのは名古屋工業大学OBの田野瀬良太郎先生である。5月19日に名工大で行われた特別公演会にお越しいただいた際に我々新聞部も取材させてもらった。田野瀬先生は元政治家で衆議院に6期当選され、自民党の国会議員として長らく活躍された方で、西大和学園の創設者でもある。正に立志伝中の人物ということで記者らはかなり緊張して取材に向かったが、気さくで話しやすい方であった。名工大から政治家になり、今は学園づくりに力を注いでいるという珍しい進路をたどった田野瀬先生についてよく知るためにここからは田野瀬先生が辿った道筋についてお話ししたいと思います。

名工大工業化学科の2部に入学し、大学が紹介した工業薬品の会社で働きながら学んだ。在学中に2部の柔道部を立ち上げ、現在は5段を持っている。そこから何故政治家を志したのか。そのきっかけは大学生の時の世界一周旅行であった。高校生の時から海外に行きたい思いが強かったので大学を留年し、会社も休んで30万円を原資として世界一周旅行に旅立った。当時社会主義思想が流行っていたので社会主義の国を見たいと考え、1番始めにソ連へ行った。そ



こで、社会主義の競争がない点、頑張っても報われないため人々のやる気がなくなっている様子をみて世の中は資本主義でなければいけないと思い始めた。またヨーロッパを巡る際に日本は高度経済成長の最中だったので自分が日本人だと知ると現地の人々が日本はどうしてあんなに急成長したのかなどを口々に聞いてきた。これをきっかけに日本とはどういう国かを深く考えるようになった。これが政治家への原点である。大学卒業後、在学中に働いていた会社そのまま就職したが、再び政治の道を志してから地元である五條市に戻り、市議会議員となった。しかし、国政に関わることを志していたため、直後に県議会議員になりたいと宣言したので自民党を除名され、結果県議会議員を落選し、辛い浪人時代が始まった。もう一つの天職である教育者となるきっかけは政治活動の空白期間の資金繰りのためだった。妻が保育士であったので保育園を作ってそこで収入を得ようと考えたのだ。これが30年以上に及ぶ教育分野との関わり始まりである。政治家としてはその後じわじわと味方が増え、県議会議員に無事当選する。県議会議員になった時も国会に行きたいと宣言したので多くのバッシングを受けたが、苦難を乗り越え国会議員になり、6期務めあげた。政

政治家と同時並行で保育園の次は奈良県に中高一貫である西大和学園、平成26年には大阪府に大和大学を開学し、現在も学部増設中である。

政治家としても、教育者としても大きな成功をおさめられた田野瀬先生に、大きなことをやるために何が大事なのかと伺ったところ、田

野瀬先生は「ぶれずに最後までやり抜くこと」。「出る杭は打たれるが、出過ぎた杭は打たれない」と朗らかに語った。その答えに田野瀬先生の生きざまを感じた。私たち名工大生も多くは技術者になるが田野瀬先生と道は違えども初志を忘れずに全うし大きなことを成し遂げたい。我々一人一人がそうした思いを秘めているならこれからの日本の未来も多少は明るくなるのではないだろうか。



ホットライン

鶴桜会(OG会)支援金授与

名古屋工業会は、平成30年7月12日（木）、名古屋工業会館にて、鶴桜会への支援金授与式を執行了いました。

授与式の後には懇談会が行われ、武藤鶴桜会会長、藤岡ダイバーシティセンター長と加川理事長・内藤常務理事により、鶴桜会の発展のための協力等についての話し合いが持たれました。



武藤鶴桜会会長、加川理事長及び関係者

表紙写真説明

「七面芙蓉」（鶴舞公園内）

撮影者 工業会事務局

新聞記事コーナー

中日新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2018/6/13	岐阜版朝	13	牛込 進	卒業生(Y33)	ぎふ経済 乗り越えていま トップのあの日々 TYK 牛込進会長(82) 失敗恐れず新手に着手
2018/6/15	朝	17	ダイバーシティ 推進センター	—	名工大・鶴飼学長「イクボス宣言」県内 県内の大学で初
2018/6/21	朝	3	神取秀樹	生命・物質工学科	光認識のタンパク質 ロドプシン新種発見 名工大など
2018/6/23	朝	9	若土弘樹	特任教員	立松財団、45件の研究助成
2018/6/25	朝	8	名古屋工業大学	—	sports愛知 弓道 ヨット
2018/7/3	朝	3	紅林章央	卒業生(C60)	この人 隅田川の橋を描いた著書が土木学会出版文化賞 紅林章央さん(58)
2018/7/7	朝	34	牧 巖	名誉教授	訃報：牧巖さん 84歳＝名古屋工業大名誉教授、材料工学 専攻
2018/7/18	くろしお版朝	16	足立辰哉	卒業生(F63)	キラリ くまのびと 尾鷲三田火力発電所長 足立辰哉さん (54)尾鷲市光ヶ丘 最後の所長 縁を感じる
2018/7/25	WEB	福井版朝	名古屋工業大学	—	実就職率97.3% 福井大トップ
2018/7/27	福井版朝		名古屋工業大学	—	福井大 実就職率全国トップ 今春
2018/8/1	朝	12	名古屋工業大学	—	科学の楽しさ実験通じ体感 名工大で講座
2018/8/1	朝	24	名古屋工業大学	—	鶴舞公園一角 飲食店で火災 放火の可能性も
2018/8/2	朝	7	名古屋工業大学	—	三菱UFJ銀、ロボで産学連携探る 東海5大学がシーズ説明
2018/8/2	朝	7	伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	街が変わる 名駅南 活性化へ共同研究 URと名工大 人の流れなど調査
2018/8/2	WEB	16	伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	名駅南の活性化へ共同研究 URと名工大、人の流れなど調査
2018/8/3	朝		名古屋工業大学	—	高校生燃料電池車プロジェクト カート 乗り心地上々

中部経済新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2018/6/19	朝	15	安井晋示	電気・機械工学専攻	研究現場発 植物工場の病原菌対策 水中プラズマによる 培養液殺菌と植物育成促進
2018/7/17	朝	15	大塚孝信	情報工学専攻	AIとIoT技術を用いた水産養殖支援システム 持続可能社会 実現のための環境情報予測

情報 ネットワーク

平成30年度 名古屋支部総会レポート

平成30年6月23日(土)午後、名工大4号館1階ホールにて名古屋支部総会が開催された。あいにくの雨の中だったが、総会出席者は85名だった。

支部長大鹿の挨拶は、(1)名古屋支部の特徴である、名工大に近い地の利を活かしたいこと(2)大学との連携及び、11の単科会同士との連携を一層よくすること(3)本部の支援を受けてこれまで以上に若手会員を意識することなど昨年の「チームワーク」から、2年目の今年は「つながり」を意識した所信表明であった。

来賓挨拶として、加川純一理事長から、名古屋工業会の基盤整備と会員サービスの充実(支部活動支援)に引き続き取り組むこと。学生に対する海外研修、課外活動、就職活動支援さらにはOG会へ支援すること。工業会の現状の3つの課題 ①工業会館の耐震化・建て替え検討 ②長期健全経営に向けた財政基盤強化 ③若手会員の参加についてご紹介いただいた。「本部の役割として各支部との連携を如何に進めていくかだ」と力強いお言葉をいただいた。

続いて、鵜飼裕之学長は大学改革に邁進してこられた4年間を振り返りつつ、世界でも類が無い学部と院の6年一貫教育、応用研究はもちろん基礎研究にも注力して着々と成果を上げている事例を上げて、名工大が力強く前に進んで

いることをご紹介いただいた。「工学教育のトップランナー」、「輝くノーベル賞候補の研究」、「着実に進む産学連携」などなど、我々卒業生が母校名工大を誇りに思える大変心強いご挨拶であった。

その後、大鑄史男先生から平成29年支部事業と平成30年事業計画が、内藤隆先生からH29年会計報告と平成30年予算計画が報告され、いくつかの質疑応答を経てそれぞれ承認された。本部と名古屋支部との関係についてなど貴重なご意見もあった。「他支部とも意見交換しつつ、支部会員が主役の支部運営に努め、来年度は計測会から経友会へスムーズに櫓をつなぎたい」と会員に心で誓った。

約10分間の休憩の後、学生生活・教育改革推進担当の副学長犬塚信博先生から「新しい工学教育と名工大創造工学教育課程」と題したご講演をいただいた。



講演会 犬塚副学長「新しい工学教育と…」

大学改革の中心は教育改革であること、名工大における新しい工学教育の流れの方向性、及びどういう人材を育てるか、28年度教育組織改革、そして、名工大創造工学教育課程のこれまでの経過と今後などをわかりやすくご報告いただけた。講演内で紹介された生の声「大学1～3年生が退屈だった」というのはもったいな



総会前に工業会本部からお祝いをいただく

いことだし、「自分の意志でやりたいことを選択して」学ぶという6年一貫教育は、時代の流れに沿っていると、学生時代を振り返りながら思う。大学時代だけでなく、企業人になってもやりたいことをやれるというのは真の働き方改革ではないか。会場からは講演中、名工大での英語の授業、中学高校のプログラミング教育、AI時代の教育についての質問があり具体的な回答をいただいた。新しい工学教育に向けた名工大の取り組み課題について興味深く聴くことができた。

会場を名工大から浩養園スターホール3Fに移しての懇親会は、内藤克己常務理事の挨拶があり、工業会は異業種交流でもあり、単科会交流でもあるから一人でも新しい仲間をつくってほしいなど示唆に富んだタイムリーな話題提供があった。

出席者最年長の緑会D35山中様の乾杯音頭から始まり、あちらこちらで自由に話の花が咲いた。今年は昨年のように単科会からの一言ずつは、無かったが、単科会交流は進んだように思う。3月にスタートしたばかりの“名古屋支部運営のあるべき姿検討プロジェクト”についても色々なご意見を伺うことができた。中締めは理事・副学長の内匠逸先生と橋本忍連携室長に大学と同窓会のつながりなどのご挨拶をお願いして、支部長大鹿の3本締め失敗で大笑いの中、お開きとなった。

記：名古屋支部長 大鹿秀正(F47)



懇親会 鶴飼学長と事務局担当の計測会

平成30年度 西濃御器所会開催報告

岐阜支部活性化事業の一つである「西濃御器所会」が去る7月6日(金)午後6時30分よりJR大垣駅前のクインテッサホテル大垣にて開催されました。大垣市を中心とした西濃地域に勤務、又は在住する同窓生50名が出席し盛会に開催されました。

世話人代表のA34山中茂樹氏による開会挨拶のあと、私より、名古屋工業会岐阜支部の活動内容及び今後の活動予定を説明し、名古屋工業会入会のお願いをいたしました。

引き続き、イビデンケミカル株式会社相談役の安田茂雄氏(Y47)より、東京都内の変遷(2000年～2025年)・「緑化から視たオリンピック前後の再開発」と題して講演をいただきました。商業ビルの変化と共に、壁面緑化、屋上緑化、周辺緑化等の変化を東京ミッドタウン六本木や日本橋再開発などの事例に基づいてお話いただきました。2020年のオリンピック会場および選手村の完成が楽しみになる講演でした。

懇親会では、昭和34年卒から平成28年卒まで幅広い世代の交流が出来ました。当西濃御器所会は、近隣に卒業生が多く勤務する企業があり、勤務帰りに気軽に集まれる場をつくり、交流できることに意義があります。

今後の名古屋工業会の活性化につながればと願っています。

記：岐阜支部 代表幹事 関尾光正(D41)



平成30年度 東北支部総会の報告

去る2018年6月9日(土)、仙台市青葉区一番町の割烹「大観楼」に於いて、平成30年度名古屋工業会東北支部総会及び懇親会を開催しました。今回は本部より加川新理事長をお招きし、齋藤文伸支部長(A51)以下支部会員13名と合わせ、合計14名で総会議事及び懇親を深めました。

総会では、(第1号議案)平成29年度事業報告及び決算・監査報告、(第2号議案)平成30年度事業計画及び予算案、(第3号議案)平成30年度役員の選出について、提案されました。

第1号議案では、親睦を深めるために二度のゴルフコンペや忘年会が開催されたことに加え、新規会員の報告がありました。第2号議案、第3号議案で、平成28年度の事業計画及び予算案、役員について承認されました。平成30年度の役員は昨年に引き続き、

支部長 齋藤文伸さん(A51)

幹事 羽鳥明満さん(C57)

〃 鈴木 聡さん(C57)

監査 島本英明さん(C48)

を選出し、佐竹毅彦さん(Y57)を引き続き代議員に推薦することを決定しました。



東北支部総会参加者

議事に引き続いて、加川理事長より、「国立大学法人 名古屋工業大学の動向と名古屋工業会の活動状況について」本部報告をいただきました。

また、会員による特別講演として、東北大学多元物質科学研究所名誉教授の早稲田嘉夫先生(K43)より「次世代型放射光施設の整備に向けて」という題目で、御自身が先頭に立って誘致を進めてこられた、東北放射光施設(SLiT-J)の実現への歩みについて報告をいただきました。

第2部の懇親会では、各参加者からの近況報告を交えながら、懇親を深めることができました。

また、翌6月10日には、仙台市太白区にあるグレースリッジカントリークラブに於いて、第33回名古屋工業会東北支部長杯ゴルフコンペを開催しました。当日は8名の参加者で盛り上がる事ができました。

優勝は齋藤文伸支部長(A51)がTOTAL97、NET76で、支部長杯が授与されました。

記：鈴木聡(C57)



東北支部出席者署名



東北支部総会講演



33th支部コンペ参加者

双友会 東京支部総会・懇親会開催

平成30年6月16日(土)午後、東京銀座松屋百貨店 8 階「イタリアレストラン イプリミギンザ」で第25回「双友会 東京支部総会・懇親会」を今年も名古屋工業会東京支部と共催で開催しました。工業会と共催で行う目的は、繊維Wのみの単科会の集いから全学に輪を拡げて情報を共有していくことです。

参加者は例年出席されるいわゆる「常連」組が大半ですが、若い会員の出席が今後増えるとより賑やかになります。

冒頭、昨年ご逝去された会員お二人の追悼のあと、榎尾恒次工業会東京支部長と森川民雄双友会会長お二方から概況講演、並びに印藤嶠双友会東京支部長の報告がありました。その後初代双友会東京支部長 山田實氏(W23)のご発声で乾杯、会食に入り各人思い思いのスピーチでお互いの近況を披露しました。

我が双友会の学科母体の変遷は起伏に富んでいます。明治38年名古屋高等工業学校の機織科

に始まりその後、紡織科、昭和24年大学発足と同時に紡織学科、繊維工学科、繊維高分子工学科、高分子工学科、材料工学科(有機材料コースZW)、生命・物質工学科(生体材料コースDW)、現在は生命・応用化学科(ソフトマテリアル専攻)と、110余年の歴史の中でこんなにも変わりました。次は一体どのような学科を目指すのでしょうか？

最近の会合では新しく参加する人、紅一点女性の参加者もいて、2～3年後の出席者はどのように変わってゆくのでしょうか？

ある居酒屋店主の言、『「常連」の客とは、頻繁に来る客だけを云うのではなく、時々または初めて店に来た客でもその場の雰囲気を壊さず他の客と打ち解け、その場を楽しめる人は「常連」です』と。

又来年の顔ぶれを楽しみに「常連」が集まる第26回懇親会を楽しみに待ちたいと思います。



第25回 双友会 東京支部総会・懇親会
於 イプリミギンザ (東京銀座) 19名

- (後列左から) 鷺見武彦(W40)、佐藤誠(W33)、細井勉(W37)、山中一(W46)、
與語達也(W36)、森川民雄(W45)、牧原八千代(W59)、谷岡明彦(W45)
(中列左から) 榎尾恒次(C48)、高瀬達也(W38)、渡邊知行(W61)、魚住峰男(W42)、
谷口庄平(W42)
(前列左から) 倉島俊二(W38)、西口浩(W37)、飯田秀郎(W33)、山田實(W23)、
大久保和郎(W45)、印藤嶠(W43)

東京支部「第61回 東京ごきそサロン」報告

第61回東京ごきそサロンが、2018年6月6日(水) 18時から八重洲倶楽部で『環境に優しいFRP船の開発をめざして

～インフュージョン法によるFRP船体建造の取り組み～』をテーマに開かれ、出席者は30名でした。講師は、(国研)うみそら研の海上技術安全研究所専門研究員の櫻井昭男氏(M53卒)です。櫻井講師は、運輸省船舶技術研究所で水海船舶・低温用複合材料の研究に携わり、米国の大学の在外研究員を経て、船舶用FRPの研究に従事するとともに、FRP船技術基準の改定作業、又新しい成形法の開発と普及に活動中です。今回は、④FRP船の環境負荷、⑤FRP船建造の技術基準、⑥新たなFRP船体材料とインフュージョン法による船体建造の取り組み、について紹介していただきました。

【講義内容】

従来のFRP船の成形法は主に手作業によるハンドレイアップ法で行われている。この方法は、主に手作業のため熟練技術が必要で、また、樹脂に含まれるスチレン等の揮散による人体への影響等が問題となっている。このため、より高強度・軽量化が期待できる新材料を得て、スチレン等の揮散のより少ない真空方式のインフュージョン法の展開に取組んだ。

④FRP船の環境負荷

総トン数14トンの外海ホタテ桁曳き漁船と総トン数2.8トンのプレジャーボートを対象に、ライフサイクル(建造・運航・廃船)のCO₂排出量を解析した。①漁船は20年間操業を前提条件で、CO₂総排出量は4,700トンでホタテ貝1kgあたり75g排出し、運航が98.3%を占めた。②プレジャーボートは15年使用を前提条件で、エコボート・従来型FRP船・軽合金艇で解析した。CO₂総排出量は、エコボート(71トン)＜従来型FRP船(74トン)＜軽合金艇(91トン)であった。

⑤FRP船建造の技術基準

FRP船の設計規則には、小型船舶安全規則(1974年施行)、FRP船暫定基準(船舶の材料に関する規定:2013年改正)、FRP船特殊基準(船長35m未満のFRP船の設計建造要件と検査方法:1982年施行)がある。特に、FRP船特殊基準は、①改良原材料(ガラス繊維機材等)の採用、②建造実

績増加によるデータの蓄積、③大型船(船長35m以上)の建造ニーズ、④ISO12215の適用(船長24m以下:2008年)、により改正を進めている。改正案の概要は、適用範囲として、①船長50m程度、②船種:プレジャー・客船・漁船等とし、方針は、①将来技術に配慮した基準、②従来の研究成果の反映、③現行の高速船構造基準(船長50m以下)及びISO12215との整合性、④新材料への考慮とその工作基準の盛り込み、等とする。

⑥新たなFRP船体材料とインフュージョン法による船体建造の取り組み

①インフュージョン法とは、上型又は下型の一方の型を用いて、繊維基材をフィルムで包み、内部を真空状態にして樹脂を注入しFRPを成形する方法である。ロービングクロスに代る新しいFRP材料ニットファブリック(ロービングを直線的に配置し糸で固定)を使用して、a)樹脂の含浸実験(メディアの効果・FRP単板構成・FRPサンドイッチ構成)、b)成形法の違いによる強度特性実験、の基礎実験を経て模型ボートを製作した。その後、実船の全長9.5mプレジャーボートを、船底・キール部・船側部の模擬実験を行った後建造した。②この成形法の造船業への普及を目的として、これまで基礎実験・実証実験に取組み、成果を公開実験として公表した。特に東日本大震災後は、国交省の地域造船産業集積高度化支援事業の一環として、宮城県南三陸町等被災地を中心に4ヶ所で公開指導を行った。③環境にやさしい成形法なのか?総トン数2.8のプレジャーボートで解析すると、a)CO₂排出量:インフュージョン(71トン)＜ハンドレイアップ(74トン)＜軽合金艇(91トン)、b)スチレン排出量:軽合金艇(0kg)＜インフュージョン(22kg)＜ハンドレイアップ(26kg)、c)固形廃棄物:インフュージョン(1.6トン)＜ハンドレイアップ(2.1トン)＜軽合金艇(4.2トン)となり、インフュージョン法はより環境にやさしいことがわかった。

講義終了後、「FRP船の最後は埋めるしかないのか?」、「船の燃費の向上は?」、「竹繊維の開発は?」等、多岐にわたる質疑応答があり、懇親を深めて盛況に終えることができました。

記: 福間 洋二 (M49)



講師 櫻井昭男氏 (M53卒)



講義中



質疑応答(食事中)

第114回 名工大ごきそ会報告

第114回『ごきそ会』は、愛知カンツリーで、6月28日(木)に行われました。

このゴルフ場は名古屋近在では、2番目(1番は和合)に古く、コースが長い事でも有名です。普通はパー72ですが、ここは74です。その分、ロングコースが6ホールも有り、アウトもインも最初と最後がロングで、中に1ホールずつロングがあります。

当日は、梅雨の合間の曇り空ですが、カンカン照りよりいいと参加者から声が出ました。

参加者は17名です。9時6分に第1組が出て、順次スタートしました。第3組が18番ホールに入った頃から陽が差し始め、暑い1日になりました。皆さんが、お風呂から出てから、パーティ兼表彰式になりました。

本日の優勝は水谷尚美(D42)さんで、グロス98、ネット72です。また、ベストグロス泉地正章(W44)さんと梶原俊彦(B45)さんで89です。

ニヤピン賞は、ショートホール全てで、4番水谷さん、7番赤井憲彦(C44)さん、13番光行恵水(C31)さん、16番泉地さんです。

他の賞としましては、おしどり賞篠田陽史(M33)さん、水谷さん、光行さん、大波賞は岡田聡(C39)さん、汗闘賞は伊藤哲夫(W45)さんと野田昭(E37)さん。バーディ賞は加藤倫朗(Y40)さんと赤井さんです。

楽しく会食をさせて頂き、次回(9月5日小原CC)を約して、散会しました。

記：会計 森川民雄(W45)



第19回 関西CE会総会の開催について

2018年7月14日に、第19回関西CE会が開催されました。

参加者は総勢23名で、ご来賓として名古屋工業会大阪支部副支部長のG50西川嘉一様にお越しいただきました。また、講演会では、名古屋工業大学 富永 晃宏教授に、「現場の水理現象とその課題」についてご講演をいただきました。

今回の総会では、西川芳久会長(C47)の下、恙無く議事が進行いたしました。平成12年以降卒業の若手・中堅組で5名(うちCH30 1名)の参加があり、幅広い世代の交流ができました。また、懇親会では、小西日出幸氏(C55)の指揮による校歌合唱や、久しぶりに参加された方の近況報告などで交流を深めました。

今後も、若手・中堅・先輩諸氏と一緒に頑張って、幹事一同、関西CE会を盛り上げていきますので、関係者の皆様には、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



懇親会後の記念撮影



2018年度 東京支部総会のご案内

平素は名古屋工業会に格別のご支援とご理解を賜り深く感謝申し上げます。

本東京支部では名古屋工業大学出身のOB・OGの絆を深める場として、皆様方のお力添えをもって毎年11月に支部総会を開催しており、本年も下記要領にて2018年度総会を予定しております。

特別講演会として、名古屋工業大学大学院・佐野明人教授から無動力歩行支援機 ACSIVE (アクシブ) をテーマにお話しいただく予定です。ご講演後は、各単科会の懇親の集いも兼ねた全学での懇親会を用意しています。当日は名古屋から、学長をはじめ、工業会理事長、常務理事、複数の現役教授をお迎えする予定です。土曜日の開催でご多忙とは存じますがご同窓お誘い合わせのうえ、ご参加の程お願い申し上げます。

お問い合わせとお申し込みは10月9日(火)までに各科担当幹事(下記)までお願い申し上げます。

記

日 時：平2018年11月10日(土)

- ・受付開始 12:30
- ・支部総会 13:00～13:35
- ・特別講演会 13:35～14:40
- ・懇親会 15:00～16:30

会 費：会員(終身、正) 6,000円、非会員 7,000円

卒業8年目までの方および90歳以上の方 3,000円

場 所：鉄鋼会館801号室(総会/講演会)、900号室(懇親会)
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10
TEL03-3669-4855

交 通：J R 東京駅下車八重洲口 徒歩約15分
日比谷線 八丁堀駅下車A5番出口 徒歩約5分
日比谷線 茅場町駅下車1番出口 徒歩約5分
東西線 茅場町駅下車12番出口 徒歩約5分

特別講演会：

講師 名古屋工業大学大学院教授 佐野明人 様
電気・機械工学専攻(機械工学分野)

演目 「ACSIVEで歩きも心もアシスト」

概要 歩行の本質は「重力で歩き、重力で倒れる」ことであり、これはヒトの歩行でもロボットの歩行でも同じです。研究室で開発されている最新の歩行・走行ロボットをご紹介いただくとともに、市販化された無動力歩行支援機ACSIVEおよびaLQ(アルク)を、デモを交えてご紹介いただきます。



A62長谷川久巳 TEL090-4522-1373
光鯨会 hasegawa.hisami.3t4@eng.nssmc.com
B46飯沼義昭 TEL0467-23-7380
経友会 takaoka102102@yahoo.co.jp
C55松田和繁 TEL080-5059-6256
CE会 kamatsud@ku.kumagaigumi.co.jp
D54刑部道博 TEL045-974-5675 FAX 同
緑会 m.osakabe.459@nitech.jp
E44井上憲二 TEL047-466-9175
電影会 kenji_inoue@mwb.biglobe.ne.jp

F52小川一郎 TEL049-264-0767
計測会 i-ogawa@mtj.biglobe.ne.jp
K53北村明弘 TEL090-6191-3316
名晶会 akihiro.kitamura@sho-pat.com
M47松浦明人 TEL090-8009-8067
巴会 a-matsuura@ch.em-net.ne.jp
W43印藤 崎 TEL047-492-1384
双友会 t-nikkal117@cg7.so-net.ne.jp
Y40日沖 昭 TEL045-911-3340 FAX 同
名窯会 hioki3@y6.dion.ne.jp

※所属単科会がご不明な方は下記までご連絡ください。
tokyogokiso@nagoya-kogyokai.jp

平成30年度 兵庫支部総会のご案内

兵庫支部長 高瀬 陽太郎

拝啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成30年度名古屋工業会兵庫支部総会を下記の通り開催致します。つきましては、ご多忙のことと存じますが、何卒ご出席を賜りますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時：平成30年11月17日（土） 17：00～19：30（受付16：30～）
2. 場 所：東急REIホテル 3F 宴会場「ローズ」
TEL 078-291-0109
（神戸市中央区雲井通6-1-5 JR三ノ宮駅南徒歩2分 三宮東交差点）

3. 式次第：

講演 「未定」

開会の辞、支部長・来賓挨拶、支部役員紹介、議事（会計報告）、乾杯、歓談、くじ引き、校歌、万歳三唱、閉会の辞

4. 会 費：6,000円

但し、満70歳以上の会員は3,000円、
平成29、30年度新入会員は、無料。

なお、出欠のご返事は10月19日(金)までに下記の担当までご連絡下さるようお願い致します。

兵庫支部当番幹事 西川 芳久 メールアドレス：y.nishikawa.2452@outlook.jp

小倉 正裕 メールアドレス：m.ogura@kobelco-eco.co.jp

一宮 誠 メールアドレス：ichimiya.makoto@kobelco.com



平成30年度 大阪支部総会のご案内

名古屋工業会大阪支部 支部長 岡崎格郎 (A46)

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度の大阪支部総会を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。

今回は、テレビでも放映されました豪州でのソーラーカーレースへの挑戦について母校ソーラーカー部城ノ口秀樹様に、歩行支援機「アクシブ」(試着の機会を設けております)について母校機械工学科佐野明人教授様に、ご講演をお願いしております。

これに先立ち、有志見学会を当日午前に行いますので、あわせてご参加のほどお願い申し上げます。ご友人・知人への声掛けもお願いします。多くの方と会えるのを楽しみにしています。

記

1. 日 時：平成30年12月1日(土) 13時15分から19時30分 受付は12時30分から行います。

2. 場 所：「綿業会館」新館 7階大会場

〒541-0051 大阪市中央区備後町2-5-8 電話06-6231-4881 <http://mengyo-club.jp/access>

地下鉄御堂筋線「本町」駅 1番出口または3番出口より徒歩5分

地下鉄先筋線「堺筋本町」駅 17番出口または12番出口より徒歩5分

3. スケジュール

第1部 支部総会 13時15分～14時15分

第2部 講演会 14時30分～16時30分

「オーストラリア縦断ソーラーカーレースへの挑戦」ソーラーカー部 城ノ口秀樹氏
「歩行支援機アクシブ」の開発 名古屋工業大学機械工学科 佐野明人教授

第3部 懇親会 17時00分～19時30分

4. 参加費用：8,000円 ただし、学生会員および卒業後3年以内の会員は無料

5. 有志見学会 「綿業会館」(国の重要文化財) ご家族、知人の方のご参加も歓迎です。

10時～綿業会館玄関で受付、10時半～11時概要説明、11時～12時昼食、12時～12時半見学

参加費用：1000円 ただし、交通費・昼食は各自負担

6. 申込み方法：下記の連絡先代表者へメールなどにて総会および有志見学会参加の有無を連絡ください。

単科会連絡先

科名 連絡先代表者 メールアドレス

C E 会	堀口大輔 (C59)	d-horiguchi@kcc.zaq.ne.jp
光鱈会	中瀬知幸 (A59)	nakase.tomoyuki@takenaka.co.jp
巴 会	掛田健二 (M45)	akeyan.ken@gmail.com
電影会	荻原義也 (E50)	ogihara_yoshiya@nissin.co.jp
双友会	小山征治 (W42)	qtmx47101@ares.eonet.ne.jp
緑 会	大貫雅彦 (G54)	onuki.masahiko@gmail.com
名窯会	川島 謙 (Y44)	ken-kawashima@sound.ocn.ne.jp
名晶会	田口教平 (K44)	taguchi.fkkt@hera.eonet.ne.jp
計測会	坂尾健司 (F55)	ksakao@air.zaq.jp
経友会	廣島清剛 (B50)	art11328@nitech.jp
学生会員	堀口大輔 (C59)	d-horiguchi@kcc.zaq.ne.jp
単科会連携	西岡 裕 (B50)	y.nishioka.1952@docomo.ne.jp



綿業会館(総会会場)地図
(<http://mengyo-club.jp/access> より引用)

大阪支部 歴史探訪会中井家建物探訪(その1) 御案内

「集いの会」幹事 横山誠 (K47)、神戸孝 (K50院)、西田修造 (F50院)

京都・奈良には江戸時代、京都御大工頭中井家が関与した名建築が沢山あります。中井家は故城戸久・名古屋工業大学名誉教授が研究され世間に知られることになりました。

今回の歴史探訪会の中井家関連の建物探訪の第一回目として仁和寺と二条城を見て回ります。

中井家初代中井大和守正清は、江戸時代初期に徳川家康に御大工(技術官僚)として起用され、駿府・江戸・名古屋城、京都御所、久能山・日光東照宮および知恩院・方広寺大仏殿などの建設で大活躍した中井大和守正清にはじまる建築技術官僚の家系です。江戸時代は、京都御所の近くに中井役所を置いて、関西一円の大工を統括し京都御所をはじめとする大規模建築を取り仕切っていました。江戸時代の国宝建築65棟の内、中井家の関与した国宝建物は19棟になります。途中からの参加および離脱もご自由です。ご案内は中井家に興味を持ち続けている岡崎支部長です。探訪会の後で京都部会を兼ねて懇親会を開きます。

記

1. 日 時：2018年9月29日(土) 散策 10時～16時 懇親会17時～19時
2. 散策予定 仁和寺 10時～13時
二条城 14時～16時
懇親会 17時～「レストラン菊水」または「メルバルク京都」
3. 京都御大工頭中井家建物探訪の行程、集合時間、見学場所
 - (1) 集合場所・時間：山陰線 花園駅 9:30AM集合(仁和寺へ徒歩30分)
JR京都駅からJR山陰線に乗車 JR京都駅9時15分発が都合よい
 - (2) 仁和寺仁王門前 10時集合 仁和寺境内の主要な建物を見学
国宝金堂、重文御影堂、重文五重塔・九所明神・仁王門・中門
昼食 各自弁当持参、境内の会館にレストランがあり暖かい食べ物も注文可
 - (3) 13時 仁和寺バス停集合、二条城へ向かう。(混雑状況によりJRを利用)
 - (4) 14時 二条城東大門前集合 二条城の主要な中井正清関連建物を見学
 - (5) 16時 二条城二の丸東大門で解散、懇親会へ参加される方はJR、地下鉄で移動。
4. 参加費用：資料代その他 会員、会員の家族500円
非会員、非会員の家族1,500円、友人・知人1,500円
なお、交通費・拝観料・飲食費等は個人払い 団体券は購入いたしません
17時からの懇親会(京都部会)へ参加される方は、会費5,000円程度頂きます。
5. 参加対象者：名古屋工業会大阪支部の会員(他支部も可)とそのご家族、ご友人・知人
6. 申し込み締め切り：9月20日(木)
7. 申し込み先：神戸 孝 電話0742-72-0103 携帯090-9877-2253 E-mail：Kobet9@yahoo.co.jp
岡崎格郎 携帯090-9287-2458 FAX077-534-8201 E-mail：okatopia1317@yahoo.co.jp

大阪支部 平成30年秋季見学会のご案内

大阪支部 支部長 岡崎 格郎 (A46)
見学会担当 西川 嘉一 (G50)

大阪地区の電力は関西電力がメインとなり供給されています。東日本大震災からしばらくは全ての原子力発電所の稼働が停止されていました。現在は、関西電力では3基の原発が稼働しています。

今回、関西電力のご厚意により、大飯原子力発電所の見学が可能になりましたので、会員各位はふるってご参加下さるようお願いします。また、ご家族、ご友人の皆様の参加も歓迎します。

記

1. 日 時：2018年10月20日（土）
2. 集合場所：西梅田暫定バス乗り場 **8時45分集合**
(JR大阪駅桜橋口から西へ徒歩5分)
3. スケジュール
9:00 バス発車
11:30～12:30 昼食（高浜町の城山荘）
13:50 大飯原子力発電所ビジターハウス着
14:10～15:10 関大飯原子力発電所構内見学
15:20 大飯原子力発電所ビジターハウス発
18:30～19:00 西梅田へ帰着予定
4. 会 費：おひとり様（会員、非会員とも） 2,500円
5. 参加条件：見学当日に、顔写真付きの証明書（運転免許証、パスポートなど）をお持ちください。
この書面がないと法律により、原子力発電所の見学ができません。ご注意ください。
6. 連絡先：見学会担当 西川嘉一 (G50) fwpg0181@mb.infoweb.ne.jp (090-9256-0308)
7. 申し込み締め切り：
2018年9月30日
8. 申し込み内容：
①氏名・年齢 ②住勤務先（OBの方は元） ③住所 ④学科・卒年
⑤TEL・メルアド ⑥当日の緊急連絡用・携帯電話



双友会総会のお知らせ

期 日：10月26日（金）午後5時～6時

場 所：大学会館3階会議室

午後6時～ 懇親会 於：大学会館1階

尚、翌27日（土）は大学に於いて『第4回 ホームカミングデー』が開催されます。

10：00～12：00 学内見学ツアー

13：30～15：00 歓迎式典

15：30～17：00 懇親会（大学会館）

第43回 経友会総会のご案内

第43回 経友会総会を以下の通り開催いたします。本年度も昨年同様、本学と名古屋工業会主催のホームカミングデーとジョイントして開催いたします。

お誘い合わせの上、多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

日 時：平成30年10月27日（土）12:00～17:00

会 場：名古屋工業大学 4号館2階会議室3、4号館1階ホワイエ

内 容：11：45～ 受付開始 4号館1階ホワイエ

12：00～ 経友会総会 4号館2階会議室3

12：15～13：15 研究紹介※ 4号館1階ホワイエ

13：30から開催されますホームカミングデー歓迎式典／記念講演会へ合流します。

15：30からはホームカミングデーの懇親会（大学会館）が開催されます。

※研究紹介は修士論文、卒業研究のポスターによる紹介になります。ご自由な時間にご覧いただけます。

併せて、工場長養成塾について紹介します。

※同日、学年幹事会を10:30から4号館2階会議室3で開催します。

※経友会会員の皆様のホームカミングデーへの参加受付は、経友会の受付と同時に行います。

ホームカミングデー事前申込みの必要はございません。

詳細は、名古屋工業大学 経友会ウェブサイト <https://keiyukai.web.nitech.ac.jp> にてお知らせします。

「第26回ごきそ会展」2018 開催のご案内 (名古屋工業大学OB美術展)

美術を愛好する本学OBによる「ごきそ会展」を今年も下記の通り開催いたしますので是非ご高覧いただきたくご案内を申し上げます。

油彩、水彩、日本画、パステル、立体物など多数（約70点）の作品を展示致します。OBの方を始め多数の方のご来場をお待ちしております。

会 期 2018年(平成30年)10月23日(火)～10月28日(日)
AM10:00～PM6:00(最終日PM4:00まで)
会 場 「電気文化会館5階 東ギャラリー」入場無料
地下鉄東山線及び鶴舞線伏見駅下車4番出口すぐ
問合せ先 「ごきそ会展」幹事 平川史朗 Tel:052-432-3975



第56回 工大祭のご案内

2018年11月24日(土)及び25日(日)に、第56回 工大祭が開催されます。

今年の工大祭のテーマは「Now It's Time」です。「工大祭」の様々な企画や装飾で楽しんだり、驚いたり、好奇心を満たしたり、そんなひと時を堪能してほしい、また、「Now It's Time」の頭文字をとると「NIT」になり、普段名工大になじみのない人にも親しんでももらいたい、そのような願いからこのテーマが付けられています。

工大祭実行委員会から、ホームページ等により様々なお知らせを随時発信しておりますので、ご確認ください。

工大祭ホームページ <http://www.koudaisai.com/index.php>

工大祭 Facebook <https://m.facebook.com/koudaisai/>

工大祭 Instagram <https://www.instagram.com/koudaisai/>



昨年の開催風景

名古屋工業大学 アントレプレナー育成事業への 支援（寄附）のお願い

名古屋工業大学は工学の全ての分野において知を深化させ、社会との連携によって多くの知の探索を
実践して参りました。その素地を活かし、「アントレプレナーシップ教育」を推進しています。

本活動を通して、自らが将来のビジョンを描き挑戦心と創意工夫をもって社会課題に挑む人材を育て、
“起業を志す人財”のみならず、大学、企業、社会において“新しい価値を創造する人財”を創出し、学生
を基軸としたコミュニティ醸成を目指しています。

活動を開始して間もないですが、興味関心の高い学生が学年・性別を問わず集まり、仲間の輪が広が
りつつあります。この活動をさらに拡充するためにも名工大版「アントレプレナー育成事業」へご支援
をいただきたくお願い申し上げます。

使用用途例（平成30年度活動計画）

「アントレプレナーシップ教育」を充実させるために使用させていただきます。

- ◇ アイディア創出手法を学ぶ価値創造ワークショップ 4月22日, 4月30日, 5月6日, 5月27日
- ◇ 起業家OBを迎えたパネルディスカッション 6月21日, 8月9日, 10月11日, 12月13日
- ◇ ビジネスプラン ブラッシュアッププログラム 9月11日～9月13日
- ◇ 学生同好会「Startup Hab 名工」定期ミーティング 毎週月曜日



価値創造ワークショップ（13名参加）



起業家OBパネルディスカッション（約50名参加）

- ・ 学生のプロトタイピング促進やビジネスコンテスト等への参加補助
- ・ 学外の企業や学生との積極的な情報交換、交流の促進
- ・ 新たなセミナーの準備・広報費、起業支援、活動場所の提供等

※試作品づくりの為に機械や場所の提供等、資金以外のご寄附もお待ちしております。

「奨学寄附金」扱いとなりますので、税制上の優遇措置の対象となります。

<参考> 名古屋工業大学HP 奨学寄附金（<https://www.nitech.ac.jp/research/cpsystem03.html>）

□寄附に関するお申し込み・お問い合わせ先

国立大学法人 名古屋工業大学 産学官金連携機構 担当：野原

E-mail ep-nit@adm.nitech.ac.jp

電話番号 052-735-7266（直通）

ご見学も歓迎です！
お気軽にご連絡ください。

名工大テクノフェア2018

「喜び・驚きの価値実装による
次世代イノベーションエコシステムの共創」



名工大の研究シーズを一挙公開！

入場無料
(一般公開)

会 場：名古屋工業大学
御器所キャンパス内 NITech Hall
日 時：2018年11月1日（木）10:00～17:00

■ 特別講演

13:00～14:05
NITech Hall 1階ホール

■ 13:00～13:05 学長挨拶

■ 13:05～14:05 特別講演

「見えないものづくり 諏訪ブランドものづくりの挑戦」

NPO法人 諏訪圏ものづくり推進機構 常務理事 小坂 和夫 氏

■ シーズ紹介ポスター発表

10:00～17:00
NITech Hall 1階ホワイエ及び2階

名工大選りすぐりの研究シーズを、まちづくり・基盤技術・暮らし・ものづくりの4つのカテゴリーでご紹介します。

※研究シーズ毎に設定したコアタイムには、研究代表者より直接研究内容を聴くことができます。
※その他、外部機関・学内組織紹介展示も行います。

■ 科学技術相談コーナー

受付時間：10:00～16:00
受付場所：NITech Hall 1階総合受付内

産学官連携コーディネーターが研究シーズの紹介と技術相談対応を行います。
名工大の産学官連携制度等、技術課題以外でもご質問がございましたらお気軽にご相談ください。

【お問合せ】

名古屋工業大学 産学官金連携機構

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町字木市29番

TEL:052-735-5627 FAX:052-735-5542

E-mail: nitfair@adm.nitech.ac.jp URL: <http://technofair.web.nitech.ac.jp/>





鶴桜会
KAKUOUKAI

第3回年次交流会

2018年10月27日(土)
10:30 ~ 13:00

名古屋工業大学 2号館 11階ラウンジ

ホームカミングデー
同時開催！！

OGのみなさん！
ぜひご参加ください！



初めての方も
大歓迎！

鶴桜会とは

「年に一回会いましょう」を合言葉に、ホームカミングデー等の機会を利用して、OG（女性同窓生）や現役女子学生が交流でき、縦と横の繋がりを持てる場を目指し、2016年に設立した名工大女性同窓会です。

本年は、落合 清恵さん（トヨタ自動車株式会社）にミニ講演会をお願いしています。

主催：鶴桜会（会長：武藤 敦子 名工大准教授）

参加申込み

お申込みは9月25日迄に下記よりお申込みいただくか、

（申込みフォーム URL <https://goo.gl/forms/IHOaBpkiJg4V7Tnh2>）

ダイバーシティ推進センターまで下記内容をご連絡ください。

①氏名、②フリガナ、③卒業学科 or 修了専攻、④卒業 or 修了年、

⑤お子さま同伴の有無、⑥託児希望の有無（希望の方は電話番号等の連絡先）

※参加費：1,000円（軽食をご用意しております）

※お子さまも一緒に参加いただけます。（参加費無料）

※託児（無料）はダイバーシティ推進センターにて行います。（詳細はセンターにお尋ねください）



お問い合わせ

名古屋工業大学 ダイバーシティ推進センター

電話：052-735-5121 / メール：diversity-crew@adm.nitech.ac.jp

後援：一般社団法人 名古屋工業会、名古屋工業大学卒業生連携室、名古屋工業大学ダイバーシティ推進センター

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座—材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ各種要素技術…
品質系全30講座—DRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法
マネジメント系全10講座—経営品質、もしどらシナップ、
プロジェクト管理…

WORLDTECH

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修 (F50)

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-22りそな名古屋ビル7F

FAX: 052-219-6026

TEL: 052-219-6025

E-mail: solution@worldtech.co.jp

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・
パンフレット・ポスター・定期刊行物
etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げら
れたノウハウはDTPにおいて、特に
不得意とされる組組みの書籍・表組み
の良物も得意分野です。

印刷

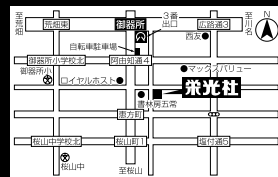
カラー印刷: 2色刷り・1色刷り・特色
刷り・品質・部数・ご予算に応じて提供
いたします。
Macintoshのみならず、ワード・太
郎等の通常オフセット印刷に適合さ
ないWindowsデータの出力ノウハウも
ありますのでご相談ください。

製本

自分史・体験記・詩歌・俳句・小説・エ
ッセイ・雑誌・絵本等、自分の本を作りた
いとお考えの方。
各種マニュアル・広報・配布文書・名簿・
クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本で
お困りの学生・法人の方、少ロットよ
りお手伝いします。

総合印刷の 有限会社 栄光社

〒466-0035 名古屋市中区松島三丁目4番地 2F
TEL: (052) 848-6148
FAX: (052) 848-6518
URL: <http://www2.ocn.ne.jp/~eik/>
E-mail: eikou@theta.ocn.ne.jp



(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

40年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってください

登録料 **50% OFF**

ブライダルコース ¥226,800→¥210,600 etc.

エクセレントコース ¥388,800→¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り。
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ (月曜定休) ☎0120-415-412
<http://www.bridal-vip.co.jp>
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪



広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

学内

学外

吉田 亮	林 幹雄 (SC①)
北川 啓介 (SA⑧)	浅野 健 (SU⑥)
田川 正人 (M56)	
酒向 慎司 (I⑪)	廣瀬 光利 (E50)
山本 勝宏 (ZW⑥)	吉木 満 (W56)
安井 孝志 (D62)	高取 奨 (D⑥)
本多 沢雄 (ZY⑥)	野々山尚志 (Y63)
小坂井孝生 (K49)	大矢 泰正 (K52)
米谷 昭彦 (F60)	守田 賢一 (F47)
川村 大伸 (SS⑩)	入倉 則夫 (B47)
三田 晴伸 (名古屋工業大学 広報室)	

一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・廣告主・関係官庁・各学会・大学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

※広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp までお願いします。